

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 2 月 25 日
主管学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
P T A 会長名	戸栗 倫子

実施概要	主管校	筑波大学附属大塚特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	
	実施日時	平成 28 年 11 月 7 日 平成 29 年 2 月 20 日
	実施場所	筑波大学附属大塚特別支援学校会議室
	実施目的	保護者が卒業後の子どもの生活設計の具現化を学ぶ
	実施内容	講演開催
	実施方法	講演依頼
	参加人数	渡部伸先生講演会： 34 名 吉野千賀先生講演会： 33 名

報告事項	内容	<p>最初、企業見学や作業所の見学を計画していたが、本校は幼稚部から高等部までの通い年齢に開きがあり、障害の程度も様々であるため、全員が参加できる内容にしてほしいというリクエストがあり、講演開催とした。</p> <p>1 回目は、文京区の「手をつなごう親の会」からご紹介いただいた渡部伸先生に講演いただいた。ご自身のお嬢様に障害があり、作業所に精通されていて、また行政書士をされている先生の講演は、就労の話に留まらず『障害のある子の家族が知っておきたい「親ないあと」～親あるあいだ』の準備』をテーマに約 90 分の講演をして頂いた。冒頭に、老障介護の悲劇をおこさないために、親が知識や情報を得ることの大切さに触れられた。障害者はなかなか理解されず不満はあるが、声をあげ続けることが大切で、社会は少しずつ良い方向に向かっていると先生は仰る。障害をもつ子どもが生活するには、総合支援法で利用できる福祉サービスを上手に利用すること、障害者年金を受給することの必要性に触れられ、保護者が一番関心の高い親亡きあとにどの位のお金が必要かという点については、就労先による工賃、入所先による生活費の違いに触れ、固定費を具体的な数字で説明頂いた。その上で、親亡きあとの子どもの生活を支えるお金の残し方、管理方法を説明頂く。後見人制度、信託制度の情報のメリット、デメリットはあるが、親は社会との接点を持ち、最低限の準備はしておくこと、しかし気楽に構え、何とかなる！という考え方をお話してくださいました。</p> <p>2 回目の講演は、本校の進路担当である上田先生より吉野千賀先生をご紹介いただいた。就労情報をはじめ、障害者が必要とする情報は地域の福祉課から提供されるのではなく、自ら取得しに行く必要があるといわれる。福祉の情報は分かりにくいことが多いため、今回は基礎知識を 90 分でお話しして頂いた。年金制度、手続きの流れ、判定基準なども説明して頂いた。障害年金は自分で必要書類を揃え、申請しなければならず、その必要書類は医師診断書の他に保護者が記載するものもあり、それは自立した生活を基準にして記載すること等、注意すべきことをお話し頂いた。</p>
	結果	<p>渡部伸先生の講演には 34 名の参加者があった。福祉の現場で活躍されているため福祉制度を熟知されており、また先生のお嬢様が障害をお持ちということで、学びだけでなく聴講者の心に寄り添うような温かい講演だった。講演会後のアンケートでは、親亡きあとのことは気になるテーマであった、お話を伺えて心の準備ができた、家族で話をするきっかけにもなったという意見がみられた。</p> <p>吉野千賀先生の講演には 33 名の参加者があった。風邪が流行する季節だが、理事会開催後ということもあり、前回とほぼ同様の参加者数だった。進路担当の上田先生からのご紹介で、学校の説明会では触れられない福祉課の内容などで保護者の興味を引くお話であった。アンケートより、参加者全員から「役に立った」という集計結果となる。幼稚部から高等部まで在籍する本校なので、具体的な内容を質問する保護者がいる一方で、初めて聞く内容で難しかったという保護者と反応は様々であった。1 度だけでは分かり難い内容なので、これからも定期的に勉強会を開催してほしいという意見が多く見られた。</p>

	<p>所感</p>	<p>両講演共に、学校から具体的に説明を受けることがない内容だったので、PTA で開催できたことはよかったと思う。また、単 P ではお呼びできない講演者に来ていただくことができ、2回も講演を開催でき、多くを学ぶことができました。参加者からも好評で、来年度も引き続き開催してほしいという声が多かった。助成金を頂きましたことを心より感謝申し上げます。しかし、助成金がもらえるとわかってから見学先や講演者をさがすのではなかなか引き受けて下さるところが少ないこと、開催時期が夏から2月に限定され、学校行事とのバランスをとることの難しさが今後の課題である。</p>

<p>添付書類</p>	<p>収支決算報告書・参加者感想</p>
-------------	----------------------

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト

参加感想

提出日	平成 28 年 2 月 25 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校

【渡部先生講演】

・味の濃い講演でした。保護者が皆、知りたい内容でしたので、主人と共に参加でき本当にためになりました。将来のことを常に頭におきつつ、今できる事を家族で協力し、生活して参りたいと思います。「親心の記録を何年か毎に見直しながらい入していきたい」と思っております。

・親がいなくなること、準備については一番心配な事でありましたので、お話を伺えて心の準備ができました。家族で話をするきっかけにもなり、聞かせていただいて本当に良かったです。

・まだまだ変わりつつある制度なのだと思います。アンテナを張って柔軟に情報を入れていかなくてはと思いました。

・自立に向けての良いアドバイス等もお話し頂いたので、将来に向けて色々考えていきたいと思っております。

・まだまだ先の事と思っておりましたが、これを機に少しずつ将来に向け、準備を始めていきたいと思っております。

・必ず直面する問題で、漠然と頭の片隅にありましたが、今日の先生の講演を聴講してとても参考になりました。家族で話し合い、子ども達にとって今後の方向性をその都度考えてから、時期をみて決断したらよいと思っております。

・本日は貴重なお話を伺う事ができ、大変参考になりました。やはり「親亡きあと」と最大の心配事ですので今から伺えた事は早くから準備するきっかけを頂けたと思っております。

・地域、親の参加、大切だと思っております。すぐにではありませんが、心づもりをしていきたいと思っております。

・まだまだ先の事・・・と考えがちですが、気がつけばもう中学生!!と思うと社会に出ざるを得ない日ももうあと僅か!という現実には驚いております。主人は「ママが分かればよいから」と少し人ごとに考えがちなのですが・・・。今日のお話を伺って夫婦が一緒に考えていかなければならないことと実感致しました。今後は色々ともっと今日の内容を含めて話し合っていこうと思っております。今日は本を見せて頂き、是非読んで私自身ももっと理解していかなければならないと実感です。

家族のためにも本人のためにもより良い人生が送れますよう心がけたいものです。

・まだ先の事かと思っておりましたが、お話を伺って今から心構えをすることはもちろん情報収集を始めることが大事なのだと痛感させて頂きました。

・今日はとても有意義なお話をありがとうございました。将来のことはどうしよう、分からないと漠然と不安に思っておりましたが、今日のお話を聞いて気持ちが楽になりました。色々な所でたくさんご活躍なさって下さい。どうもありがとうございました。

・非常に有意義でした。聞かせて頂き感謝であり、私の幸運だったと感じました。ありがとうございました。

・将来、直面する問題について具体的に伺うことができ、とても参考になりました。こういった内容の講演をPTAの皆様と聞いたこともとても有意義だったと思っております。これからも保護者の方々と情報交換をしながら考えていきたいと思っております。

・年金の不透明性がある中で知らない事、目からウロコが出る話の数々。まずは社会と接点を持ち、親も独りよがりにならないよう留意していきたいと思っております。まずは子どもの多い、家族の思いに寄り添って。

・ご自身のお嬢様に知的障害があるということで、とても地に足のついた現実的な話が拝聴できて大変有意義でした。ご自身の話でとても力があり、説得力があり、また参考になり、ありがたい絶好な機会となった。今日は拝聴できてとてもよかった。

・親亡き後の準備にまつわる現状をお聞きすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

・親心の記録のような支援ノートが必要を分かり易く教えて頂きました。できる事からやっっていこうという気持ちになりました。

・福祉を取り巻く制度は年々変化していると思っております。少し難しい内容でしたが、専門的なお話を聞くことがとても勉強になりました。

【吉野先生講演】

・障害年金が大切とは聞いており、詳しく説明して頂きとても参考になりました。考えていたより手続きが大変そうで心の準備ができて良かったです。

・何度もお聞きしても理解が難しい内容ですのでまた改めて勉強を続けていながらお聞きしたい内容でした。親の方も勉強不足で反省しております。今後とも時間をかけて理解を進めて参りたいと思っております。

・年金は20歳になれば自動で頂けるのだと思っておりました。申請も複雑で大変参考になりました。

・まだまだ先のことなのでどんなことを知っていたらよいのか等知れたら・・・と思っておりました。

・早い時期に知っておくことも大事だと感心しました。